

# 春の叙勲・褒章

清瀬市では次の方々を受章されました。おめでとうございます。

### 旭日単光章



麻生眞一郎さん(73歳)  
元清瀬市代表監査委員  
(地方自治功労)

### 瑞宝小綬章



杉本清秋さん(73歳)  
元福島地方気象台長  
(気象業務功労)

### 瑞宝双光章



瀧澤和彦さん(61歳)  
元3等陸佐  
(防衛功労)

### 瑞宝単光章

坂西伸一さん(72歳)  
元黒田精工(株)常務取締役  
(技能検定功労)



ご年齢は叙勲・褒章が発表された4月29日時点のものです。

## 優れた技能をお持ちの方などをご推薦ください

### ①技能功労者表彰

**【表彰の基準】** 多年にわたり同一の職業に従事し、その功労が顕著と認められ、次のすべてに該当する方。

⑦基準日(令和5年5月1日)において5年以上継続して市内に居住している方

⑧30年以上にわたり技能者としての経験を有し60歳以上で、現在もその職に就いている方

⑨優れた技能を持ち後進の模範となっている方

**【対象となる職種】** 石工、タイル工、造園・植木職、鳶職、大工、左官職、建具職、表具師、畳職、塗装工、配管工、桶職、和・洋裁師、理容師、美容師、板金工、調理士、製菓技術職、豆腐製造

職、電気工事士、時計修理士、写真師、下駄職、製靴職、印刻師、クリーニング師、はり・きゅう・あんまマッサージ指圧師、農業従事者など

### ②市民表彰

**【表彰の基準】** 市民または市に関係のある個人・団体で、市の公益に関して特に功労が顕著と認められ、その行為が20年以上現在まで継続している方

**【推薦方法】** ⑥6月30日(金)までに下記各係にある推薦書に必要事項を記入し、直接①は産業振興課商工係 ☎042-497-3187へ、②は未来創造課マネジメント係 ☎042-497-1807へ

※いずれも自己推薦はできません。

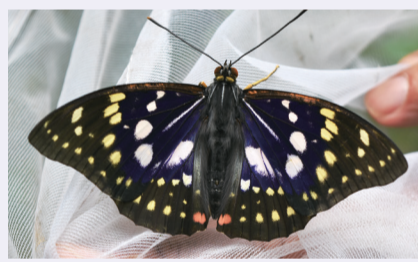
## オオムラサキのケージを一般公開します

市の財産である「みどり」を次世代に継承するため、市では萌芽更新を行い、雑木林の若返りを行っています。この活動を市民の皆さんに知っていただくため、雑木林の象徴とされるオオムラサキの飼育を開始して12年目になりました。今年も、昨年卵からかえった幼虫が順調に育っており、6月中旬にはオオムラサキがケージ内を舞います。下記の日程で一般公開します。

◆平日公開=6月14日(水)~7月5日(水)の平日午前10時~午後3時

◆休日公開=6月18日(日)・25日(日)午前10時~午後3時

**【備考】** 雨天及び強風の場合は中止します。また、状況により予告なく中止する場合があります。写真撮影可能です。団体の方も上記の日時にご来場ください。入口に設置している見学届を提出してください。ケージ内での飲食はご遠慮ください。マスクの着用は任意です。台田の杜広場を駐車場として臨時開放します(午前9時50分~午後3時10分)。



オオムラサキ

場直伊藤記念公園 台田の杜  
問水と緑と公園課緑政係  
☎042-497-3267

## 清瀬こども俳句

選評=石田波郷俳句大会実行委員会・谷村鯛夢  
※今回の俳句は「第14回石田波郷新人賞」ジュニア俳句賞から。学年は大会時。

### 心まで雨でぬれてる梅雨の時期……清明小6年 八百朗斗

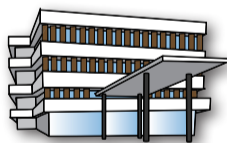
(評) 季語はもちろん梅雨。日本版雨季。「○○のような」という比喩は詩表現の基本だが、俳句は17音という短い詩なので、いろいろと省略の工夫をする。この句では「ぬれてる(ような)」。省略しても気持ちは伝わる。

### セミのこえどんどんなかまふやすこえ……清瀬第十小4年 佐藤航太

(評) 俳句はたった17音の表現だけに、読者によってさまざまな解釈ができる。そこが魅力だし、面白さ。この句、セミの声の大きさと夏の盛りを表現したとも、うるさくてたまらんと、作者の孤独さの表現とも……。

### 先生にはじめて書いたしょちゅうみまい……清瀬小3年 土屋梨香子

(評) 季語は暑中見舞い。多分、3年生で初めて出会った日本語だろう。低学年気分から脱しつつある3年生らしい夏の一句。先生も大喜びだね。



## 清瀬市役所 おしごと★図鑑

### 第2回 教育企画課 学務係

市役所の仕事を紹介していきます。第2回目は教育企画課学務係。そのなかでも給食担当に着目します。

問シティプロモーション課プロモーション係 ☎042-497-1808

### こんな仕事をしています!

- 学事担当…学籍の管理、就学援助費、学校への補助金事務など
- 保健担当…学校保健及び衛生の管理など
- 給食担当…学校給食の運営・管理など

### 誰が学校給食のメニューを考えているの?

各学校と教育委員会の栄養士が毎月集まって献立会議を開き、小学校と中学校で市内共通の標準献立を作成します。その後、どんな食材を使えばおいしく調理でき、栄養満点な給食が作れるかを考える物資選定会議を開きます。こうして決まったことを基本として、各学校でアレルギー対応や食育授業などを考慮して献立が完成します。このため市内のどこの学校でもほとんど同じ献立の給食を食べることができます。また月に1回調理員が集まって会議を開き、作り方や作業手順などの情報交換を行います。毎月19日の食育の日には、清瀬産の食材をふんだんに使った和食を提供できるように考えています。

### 最近のホットな話題!

これから全校の給食で清瀬産のおいしい「とうもろこし」を提供します。また昨年に引き続き、国産米の米粉を使用した米粉パンも登場します。

### これが使命だ! 頑張るぞ!

清瀬市内には多くの畑があり、1年を通じてさまざまな農産物が取れます。生産者の皆さんにもご協力いただき、多くの新鮮な野菜や果物を提供できるよう取り組んでいます。給食を活用した食育を実施し、子ども達が食への興味関心を持ち、健康的な食習慣が身につくように栄養教諭・学校栄養職員と共に頑張ります。今後は、子ども達と一緒に清瀬産の野菜や果物を活用したメニューを考案し、学校給食に提供できるような企画を考えていきます。



「地産地消の取り組み」のホームページ



朝採れの「とうもろこし」が届きます



昨年の米粉パン給食の様子

今回は、障害福祉課